

## 国際学会参加のキセキ

第6期 OB 窪田 和基

2010年9月9日から12日までの4日間、ホテルニューオークラにて催された国際学会、Korean Academy of Marketing Science/Society of Marketing Advances 共催 Global Marketing Conference (略して GMC) に小野先生および大学院生の皆と参加した。国際学会での発表は、私にとって初めての体験であり、大いに学ばせていただいた。当日の様子は、小野ゼミのホームページ ([http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/html10/10\\_gasshuku08\\_0909-12\\_KAMS.htm#01](http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/html10/10_gasshuku08_0909-12_KAMS.htm#01)) にアップされているため、そちらを参照していただくとして、本エッセイでは、私が GMC に参加するキセキを記させていただきたい。

思い返してみると、GMC への挑戦は2009年6月から始まったのであろう。大学院への進学に関して相談するため、私は、山食で昼食をとられる小野先生のもとに伺った。その折に、GMC への参加を持ちかけていただいた。この時から、私の国際学会への挑戦が始まったのである。

とはいうものの、GMC に提出する論文の作成を意識し始めたのは、1月ごろからである。GMC に参加するためには、4月に論文を提出し、レビュアーの査読を経て、発表する資格を得なければならなかった。私は、卒業論文の一部を膨らまし、英訳したものを GMC に提出した。膨らます過程、英訳する過程、はては学会組織の担当者に提出する文面を書く過程において、小野先生のご指導を多分にいただいた。

学会組織から GMC での発表を許可する旨の連絡が届いたのは、6月になってからである。他の院生の合格通知は、5月の下旬には届いていたため、ひとり不合格かと落ち込んでいる最中のことであった。待たされた分、喜びもひとしおである。早速、小野先生にご報告し、GMC の予稿集に載せる要旨の作成にあたった。この過程においても、小野先生のご指導をいただいたことは、言うを俟たない。

合格通知によって浮ついた心を持ったまま夏休みに突入した。このころから GMC で発表するためのパワーポイントの準備を本格的に始めたのだが、作業は困難の連続であった。自分が漠然としたまま持っている考えをどのようにパワーポイントにまとめるか、どのように英訳するか、そして、そもそも自分が持っている考えが正しいかどうかということさえにも、今更ながら頭を悩ました。遅々としてパワーポイントの



世界マーケティング会議にて、英語でプレゼンを行う著者



小野ゼミ大学院生&大学院進学候補生と、学会会場にて

作成がはかどらない私に、小野先生は幾度もご指導してくださった。小野先生のご指導なくしては、何ひとつ完成しなかったであろう。改めて、ご指導のお礼申し上げたい。

さて、このように、幾度もご指導をいただくことによって、無事に GMC の発表を迎えることができた。当日は、緊張の連続であったが、その分、学ぶことも多かった。自分の発表に対して、英語で真剣に質疑されることなど、国際

学会でなければ体験できないであろう。また、海外の一流の研究者たちの発表や懇親会の際に行った研究談議の1つ1つが、勉強であった。

以上が、私が国際学会で発表するという奇跡が起きるまでの軌跡である。本エッセイを通して言いたいことは、1つである。それは、もしゼミ生で国際学会に参加したいと考えているのならば、迷うことなく挑戦してみしてほしいということである。本エッセイで明らかのように、本来ならば、私が国際学会で発表することなど夢のまた夢であった。小野先生のご指導をいただくことにより、その夢が可能になるという奇跡が起きたのである。ゼミ生の皆さんも、たとえ自信がなくとも、挑戦の意思を示し、努力さえすれば、誰にでも国際学会で発表するチャンスがあるということを忘れていただければと思う。本エッセイをきっかけに、一人でも、国際学会に興味を持っていただけたのならば、幸甚である。



国際学会の華やかな夕食会に参加した著者。小野ゼミ大学院生と小野先生を囲んで